

記入例

名前 大河原 太郎 血液型 A型 生年月日 昭和 60年 4月 1日 住所 大河原町字新南 19 【緊急連絡先】 名前 大河原 花子 本人との関係 母 電話番号 0224-53-〇〇〇〇	障がい・病名 知的障がい 症 状 かかりつけの病院 おおがわら病院 病院の電話番号 0224-52-〇〇〇〇 配慮してほしいこと・お願いしたいこと むずかしい言葉が苦手です。 ゆっくりと簡単な言葉で話して下さい。
---	---

注意：ヘルプカードには重要な個人情報記載されるので、取り扱いや紛失には十分注意してください。
 なお、必ずしもすべての欄に記入する必要はありません。
 困ったときのことを考えて、伝えたい内容を記入してください。

ヘルプマーク・ヘルプカードをご存知ですか？

～「手助けが必要な人」と「手助けをする人」をつなぐ～

ヘルプマークとは？

ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している人、内部障がいや難病の人、発達障がいがある人、または妊娠初期の人など、外見からは援助や配慮を必要としていることがわからない人たちが、周囲に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が受けやすくなるよう作成されたマークです。

平成24年に東京都でヘルプマークが作成され、それが全国的に広まり、昨年7月にはJISに追加されたため、今後さらに、認知度が高まることが期待されています。

ストラップ型のヘルプマークは、カバンなどに下げて利用します。



ヘルプカードとは？

ヘルプカードは、障がいのある人などが周囲の援助や配慮を必要としているとき、言葉では「困っています」と伝えられない場合でも、このカードを提示することで、手助けをお願いしやすくなるものです。

カードの内側には、名前や生年月日などの基本情報のほか、緊急連絡先やかかりつけの病院、「配慮してほしいこと」などが記入できるようになっています。



ヘルプカードにはどんなことを書くの？

カードの内側には、カードを所有する人の名前、血液型、生年月日などの基本情報と、緊急時に連絡をとってほしい人の名前、本人との関係と連絡先、障がいの病名やその症状、かかりつけの病院や電話番号のほか、カードを見せる相手に配慮してほしいこと、お願いしたいことを記入します。

カードには重要な個人情報記載されているので、持ち歩き方や記入する内容は家族などと相談しましょう。

困っている人を見かけたら？

ヘルプマークを持っている人を見かけたら、電車やバスのなかでは、席を譲るなどの配慮をお願いします。

また、困っているような様子のときは、「どうしましたか？」「お手伝いしましょうか？」などと、おだやかにゆっくりと声をかけてください。相手が自分で困って

いることをうまく伝えられないようなときは、「ヘルプカードを持っていますか？」と声をかけてみてください。

ヘルプカードを提示されたら、ヘルプカードの内側に書かれている緊急連絡先や病名などの内容を確認し、周囲の人と協力しながら相手が求める支援（例えば、緊急連絡先に連絡する、筆談で説明するなど）を行ってください。

自分で対応しきれないと判断したときは、速やかに緊急連絡先または119番に連絡してください。

ヘルプマークとヘルプカードを広めよう

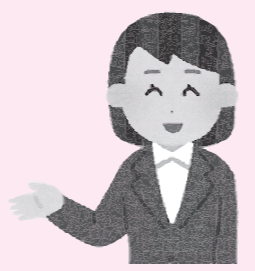
ヘルプマークとヘルプカードの存在を、たくさんの人に知ってもらうことで、安心して活用できるようにします。

「手助けが必要な人」と「手助けをする人」がつながり、より住みよいまちとなるよう、ヘルプマークとヘルプカードの普及にご協力をお願いいたします。

◆ ヘルプカード・ヘルプマークを配布します ◆

本町では、平成30年10月1日から、ヘルプカードとストラップ型のヘルプマークを配布します。

障がいのあるかた（障害者手帳の有無を問いません）、難病のかた、妊娠初期のかたなどで希望されるかたは、役場福祉課でお申し出の上、お受け取りください。



問合せ先▶福祉課障害福祉係 ☎ 0224-53-2115

ヘルプカードは、こんなときに役立ちます。

日常的に



外出の際に手助けが必要なときなど

緊急のとき



急な発作やパニックが起きたときなど

災害のとき



避難所などで困ったときなど